

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2030年3月15日まで（2020年3月2日設定）	
運用方針	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてスペインの国債に投資を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。	
主要運用対象	ベビーフンド	ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	スペインの国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	<p>分配対象額は、経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。</p> <p>分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。（基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）</p>	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書（全体版）

スペイン国債7-10年ラダーファンド （為替ヘッジあり） （ラップ向け）

第2期（決算日：2021年3月17日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）」は、去る3月17日に第2期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
(設定日)	円		円		%		%		百万円
2020年3月2日	10,000		—		—		—		1
1期(2020年9月17日)	10,191		0		1.9	93.3	—		3,190
2期(2021年3月17日)	10,209		0		0.2	97.7	—		1,805

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	債 先 物 比	券 率
		騰 落	率				
(期首)	円		%		%		%
2020年9月17日	10,191		—		93.3		—
9月末	10,227		0.4		96.5		—
10月末	10,284		0.9		93.9		—
11月末	10,352		1.6		96.2		—
12月末	10,366		1.7		98.0		—
2021年1月末	10,337		1.4		97.0		—
2月末	10,089		△1.0		99.1		—
(期末)							
2021年3月17日	10,209		0.2		97.7		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第2期：2020年9月18日～2021年3月17日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第2期首	10,191円
第2期末	10,209円
既払分配金	0円
騰落率	0.2%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.2%の上昇となりました。

基準価額の変動要因

上昇要因

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

スペイン長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

第2期：2020年9月18日～2021年3月17日

投資環境について

▶ 欧州債券市況

スペインの長期金利は上昇しました。

スペイン長期金利は、2020年12月にかけては、欧州で新型コロナウイルスの感染が再度増加し、感染抑制策による域内経済への影響が懸念されたことなどを背景に低下しました。その後は、新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常

化や米国の大規模な追加経済対策期待に加え、商品価格上昇などを背景とした世界的なインフレ観測の高まりなどを受けて、欧州中央銀行（ECB）を含む主要中央銀行による緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどからスペイン長期金利は上昇し、期を通じてみると、上昇して終わりました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を通じてスペイン国債に投資しました。

▶ ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第2期 2020年9月18日～2021年3月17日
当期分配金（対基準価額比率）	-（-%）
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	461

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド受益証券を高位に組み入れ、マザーファンドのポートフォリオの構成に近づけた状態を維持する方針です。

▶ ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

スペインの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

2020年9月18日～2021年3月17日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	21	0.209	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(17)	(0.165)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(3)	(0.027)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.010	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.009)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合計	22	0.219	

期中の平均基準価額は、10,283円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

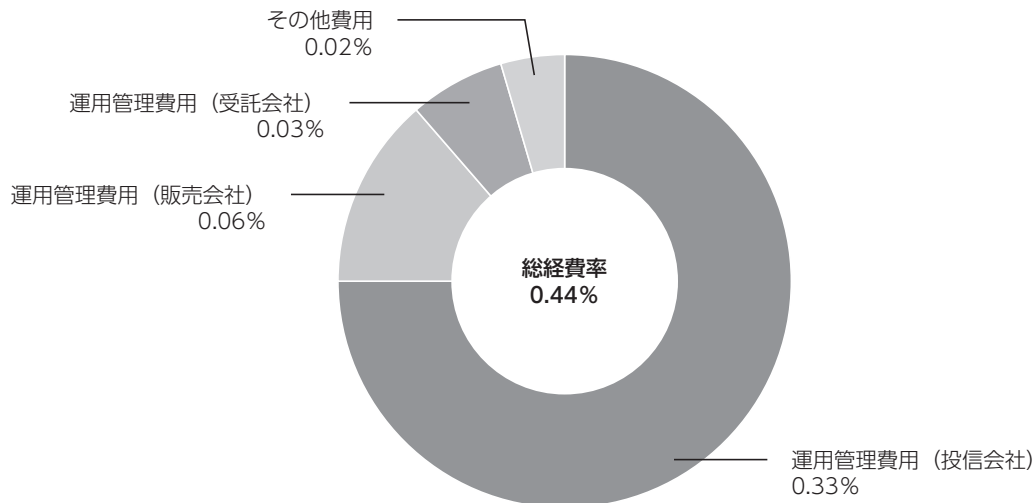
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.44%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2020年9月18日～2021年3月17日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	千口 26,645	千円 29,038	千口 1,311,903	千円 1,428,149

○利害関係人との取引状況等

（2020年9月18日～2021年3月17日）

利害関係人との取引状況

<スペイン国債7-10年ラダーファンド（為替ヘッジあり）（ラップ向け）>
該当事項はございません。

<ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
	百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替先物取引	42,747	13,984	32.7	41,604	13,474	32.4
為替直物取引	246	—	—	1,502	258	17.2

平均保有割合 15.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

（2021年3月17日現在）

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	千口 2,945,399	千口 1,660,141	千円 1,800,589

○投資信託財産の構成

（2021年3月17日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド	千円 1,800,589	% 99.4
コール・ローン等、その他	10,706	0.6
投資信託財産総額	1,811,295	100.0

(注) ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（13,739,102千円）の投資信託財産総額（13,908,782千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=129.89円			
---------------	--	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年3月17日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	1,811,295,011
コール・ローン等	10,615,322
ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド(評価額)	1,800,589,414
未収入金	90,275
(B) 負債	6,209,973
未払解約金	1,646,287
未払信託報酬	4,520,907
未払利息	3
その他未払費用	42,776
(C) 純資産総額(A-B)	1,805,085,038
元本	1,768,211,107
次期繰越損益金	36,873,931
(D) 受益権総口数	1,768,211,107口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,209円

<注記事項>

- ①期首元本額 3,130,423,013円
 期中追加設定元本額 54,340,155円
 期中一部解約元本額 1,416,552,061円
 また、1口当たり純資産額は、期末10,209円です。

②分配金の計算過程

項 目	2020年9月18日～ 2021年3月17日
費用控除後の配当等収益額	4,105,298円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	3,485,935円
分配準備積立金額	74,073,902円
当ファンドの分配対象収益額	81,665,135円
1万口当たり収益分配対象額	461円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

○損益の状況（2020年9月18日～2021年3月17日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 506
受取利息	5
支払利息	△ 511
(B) 有価証券売買損益	7,302,852
売買益	16,568,977
売買損	△ 9,266,125
(C) 信託報酬等	△ 4,563,683
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	2,738,663
(E) 前期繰越損益金	74,073,902
(F) 追加信託差損益金	△39,938,634
(配当等相当額)	(3,446,150)
(売買損益相当額)	(△43,384,784)
(G) 計(D+E+F)	36,873,931
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	36,873,931
追加信託差損益金	△39,938,634
(配当等相当額)	(3,485,935)
(売買損益相当額)	(△43,424,569)
分配準備積立金	78,179,200
繰越損益金	△ 1,366,635

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド

《第4期》決算日2021年3月17日

[計算期間：2020年9月18日～2021年3月17日]

「ヘッジ付スペイン国債7-10年ラダーマザーファンド」は、3月17日に第4期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	主としてスペインの国債に投資を行います。 原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用をめざします。 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。
主要運用対象	スペインの国債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰	落率			
(設定日) 2019年4月24日	円 10,000		% —	% —	% —	百万円 4,987
1期(2019年9月17日)	10,630		6.3	98.8	—	10,899
2期(2020年3月17日)	10,212		△3.9	92.2	—	13,314
3期(2020年9月17日)	10,804		5.8	93.5	—	14,959
4期(2021年3月17日)	10,846		0.4	98.0	—	13,833

(注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

(注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基準価額		債組入比率	債券先物比率	債券率
			騰落率	騰落率			
	(期首)		円	%			%
	2020年	9月17日	10,804	—	93.5		—
	9月末		10,844	0.4	96.7		—
	10月末		10,909	1.0	94.1		—
	11月末		10,985	1.7	96.5		—
	12月末		11,004	1.9	98.2		—
	2021年	1月末	10,977	1.6	97.4		—
	2月末		10,716	△0.8	99.3		—
	(期末)						
	2021年	3月17日	10,846	0.4	98.0		—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ0.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券利子収入を享受したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

スペイン長期金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎欧州債券市況

- ・スペインの長期金利は上昇しました。
- ・スペイン長期金利は、2020年12月にかけては、欧州で新型コロナウイルスの感染が再度増加し、感染抑制策による域内経済への影響が懸念されたことなどを背景に低下しました。その後は、新型コロナウイルスワクチン普及に伴う経済正常化や米国の大規模な追加経済対策期待に加え、商品価格上昇などを背景とした世界的なインフレ観測の高まりなどを受けて、欧州中央銀行(ECB)を含む主要中央銀行による緩和的な金融政策の早期縮小を織り込む動きが強まったことなどからスペイン長期金利は上昇し、期を通じてみると、上昇して終わりました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債を主要投資対象とし、これらの債券の各残存期間ごとの投資金額が同額程度になるような運用を行いました。
- ・組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

○今後の運用方針

- ・スペインの国債を主要投資対象とし、原則として、残存期間が7年程度から10年程度までのスペイン国債に投資し、各残存期間ごとの投資金額が同程度になるような運用を目指します。また、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図る方針です。

○1万口当たりの費用明細

(2020年9月18日～2021年3月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	円 1 (1)	% 0.009 (0.009)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	1	0.009	
期中の平均基準価額は、10,914円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2020年9月18日～2021年3月17日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	スペイン	国債証券	3,259	11,752

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2020年9月18日～2021年3月17日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B		売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
			$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 42,747	百万円 13,984	% 32.7	百万円 41,604	百万円 13,474	% 32.4
為替直物取引	246	—	—	1,502	258	17.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行です。

○組入資産の明細

(2021年3月17日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ	千円	%	%	%	%	%
スペイン	96,740	104,326	13,550,951	98.0	—	98.0	—	—
合 計	96,740	104,326	13,550,951	98.0	—	98.0	—	—

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ		%	千ユーロ	千ユーロ	千円		
スペイン	国債証券	0.5 SPAIN GOVT 300430	0.5	33,980	34,922	4,536,132	2030/4/30
		1.4 SPAIN GOVT 280430	1.4	31,520	34,718	4,509,541	2028/4/30
		1.45 SPAIN GOVT 290430	1.45	31,240	34,685	4,505,278	2029/4/30
合 計						13,550,951	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2021年3月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	13,550,951	97.4
コール・ローン等、その他	357,831	2.6
投資信託財産総額	13,908,782	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(13,739,102千円)の投資信託財産総額(13,908,782千円)に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 ユーロ=129.89円		
---------------	--	--

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月17日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	27,383,487,852
コール・ローン等	236,274,780
公社債(評価額)	13,550,951,732
未収入金	13,474,705,158
未収利息	117,533,629
前払費用	4,022,553
(B) 負債	13,550,327,753
未払金	13,544,700,000
未払解約金	5,627,703
未払利息	50
(C) 純資産総額(A-B)	13,833,160,099
元本	12,754,346,256
次期繰越損益金	1,078,813,843
(D) 受益権総口数	12,754,346,256口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,846円

<注記事項>

- ①期首元本額 13,846,394,898円
 期中追加設定元本額 241,674,304円
 期中一部解約元本額 1,333,722,946円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.0846円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-04(適格機関投資家限定)	3,963,901,432円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	2,784,495,130円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーオープン(為替ヘッジあり)(適格機関投資家転売制限付)	1,860,012,259円
スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり)(ラップ向け)	1,660,141,448円
国内債券セレクション(ラップ向け)	895,307,964円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-06(適格機関投資家限定)	764,247,703円
MUKAM スペイン国債7-10年ラダーファンド(為替ヘッジあり) 2019-07(適格機関投資家限定)	752,329,895円
アドバンスト・バランスⅡ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	38,529,210円
アドバンスト・バランスⅠ(FOF s用)(適格機関投資家限定)	35,381,215円
合計	12,754,346,256円

○損益の状況 (2020年9月18日~2021年3月17日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	70,771,214
受取利息	71,118,986
支払利息	△ 347,772
(B) 有価証券売買損益	△ 7,339,545
売買益	926,807,678
売買損	△ 934,147,223
(C) 保管費用等	△ 1,320,432
(D) 当期損益金(A+B+C)	62,111,237
(E) 前期繰越損益金	1,113,102,155
(F) 追加信託差損益金	21,857,053
(G) 解約差損益金	△ 118,256,602
(H) 計(D+E+F+G)	1,078,813,843
次期繰越損益金(H)	1,078,813,843

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。